

年頭のご挨拶 ～2024 年を振り返って～

新年あけましておめでとうございます。元旦に発生した能登半島地震が最近の事のように感じられ、年々時の流れが速くなっていると感じるのは私が年をとったからでしょうか？それとも様々な事件が起こり慌ただしく毎日過ごしてきたからでしょうか？



能登半島地震では 400 人以上の市民がお亡くなりになり、復興半ばの 9 月には集中豪雨による風水害に見舞われました。能登の住民の皆様には心よりお見舞い申し上げます。県からの要請を受けて当院からも初めて DMA T の災害派遣を経験しました。悪路と悪天候で困難な状況で支援活動を行っていただいたスタッフの皆様には心から感謝申し上げます。8 月の台風 10 号では 10 年ぶりに内水氾濫が発生し外来および職員駐車場が冠水し地階の発達外来では床上浸水が起きました。災害対策本部を設置し院内の情報収集と職員安否情報システムによる情報発信を行いました。11 月には停電が発生し画像診断装置や血液検査などが一時使えなくなり診療に支障がでました。このように震災以外にも様々な災害が起こりリスクマネジメントが求められた 1 年でした。

昨年は様々な改装工事を行いました。4 月には待望の新救急外来棟がオープンしました。広くなった初療室で多くの患者を受け入れることが可能となり、棟内の CT や



レントゲン装置を用いて効率的に診療ができる環境が整いました。5 月には入院支援室をエントランス内に設置しました。今年度から医師の働き方改革が施行されましたが、入院支援室では入院が決まった患者に入院前から治療の説明や内服薬の確認、費用や利用できる介護制度の説明など看護師や薬剤師、社会福祉士、管理栄養士など様々なスタッフがチームで患者を支援する体制を整備しました。11 月には外来化学療法センターを開設しました。薬の調剤室や服薬指導を行う面談室、口腔ケアを行う歯科診療室も隣接しており機能的に治療を受けていただけるようになりました。患者が新しく快適な環境で治療を受けていただく姿を見て本当に良かったと実感しております。



医療の質の面でも 2 つの認定を受けました。1 つ目は卒後臨床研修評価機構（通称 JCEP）の認定を受けました。医師は最初の 2 年間、患者を総合的に診療する能力を身につけるため各診療科をローテーションし修練します。当院は卒後臨床研修病院であり、現在 14 名の初期臨床研修医が研修を受けています。来年度も新たに 10 名の研修医が入職する予定ですが、今回の JCEP の認定でますます当院での研修を希望する学生が増えることでしょう。

二つ目は三重県から女性が働きやすい医療機関に認定されました。看護師はもとより

医師も最近では女性の比率が高くなり、院内保育や産休育休などの労務体制が整った働きやすい環境の整備が求められています。昨今、若者の人口が減少し看護師や薬剤師など医療職の確保が難しい時代になっています。今回、女性が働きやすい医療機関の認定を受け若い医療職から選ばれる病院となれるよう努力していきたいと考えています。

2025年は巳年です。蛇は脱皮を繰り返し成長することから、これまでの学びや努力が実を結ぶ年だといわれています。医療情勢は年々厳しさがましていますが、地域の皆様にとって今年1年が実り多き年となりますよう願わずにはられません。引き続き真に地域から選ばれる病院となれるよう職員一同頑張っていく所存ですので住民の皆様、地域の医療機関、消防や行政、医師会の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。